

正平調を書き写しましょう。

名前【 】

神戸新聞 2020年04月16日 木曜日 面名 朝一 14 1ページ

正平調

その「…」が忘れられない。熊本地震の後、専門家の案内で被害の大きい熊本城の周りを歩いた。説明が何度か途切れる。あの櫓が…、石垣が…。月日がたとうと気持ちは静まら

ない◆話の中に「せいしよこさん」という言葉が出てくる。意味を尋ねると、城を築いた加藤清正のことだという。清正公がいつか「せいしよこさん」。どの城下町も城への愛着は強いが、ここでは敬慕にも似る◆その熊本城が激しく揺れて、4年になる。おとといが前震、きょうが本震のあった日だ。天守が土煙を上げているのをテレビで見たのは前震だったか。ただことではない。天守がわが身を震わせ、そう伝えていた◆そして、今。熊本日日新聞の調査では、住まいを確保できた、あるいははめどがついた被災者が9割弱という。復興を実感する人も増えた。一方で「自宅を再建できず取り残されている」の声も。うめきは続く◆阪神・淡路大震災と重ねてみる。4年がたったころ、まだ多くの被災者が住まいに悩み、暮らしをどう立て直していけばいいのか、迷っていた。同じ道を熊本の被災者が歩いている。支援の手を緩めてはいけない◆今宵は一晩中、城が照明に浮かぶ。復興、そして感染防止を願って。「せいしよこさん」もどこかでご覧だ。 2020.4.16

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

正平調

Grid for handwriting practice